

# 平成21年度の各部会活動実績報告

6月15日に開催された第2回市川市史編さん委員会において、平成21年度の各部会の活動実績報告が行われました。今回は、その報告内容の一部をご紹介します。

いずれの部会でも、基礎資料の整理収集作業に力を入れています。地道な作業が今後も続きますが、その内容も、少しずつ、市民のみなさまにお伝えしていきたいと思えます！



第2回市史編さん委員会の様子

## 歴史部会（考古・古代分野）

古代の地形環境、旧石器時代におけるムラの地域形成、下総国府・国分寺の消長などの解明を目指しています。昨年度は、ボーリング調査候補地の選定、市内の旧石器・縄文時代遺跡出土の資料調査、市内古墳の現地調査、古代戸籍の資料調査とそれに関わる集落遺跡の調査などを行いました。調査成果の一部は講演会「ヤマトタケル伝承と東国・市川」「市川の国府と国分寺」のなかで発表しました。※昨年の講演会は市川市ホームページ「いちかわインターネット放送局」(<http://ibs.city.ichikawa.chiba.jp/>)でご視聴いただけます。

## 民俗部会

民俗は前回市史であまり取り扱っていないこともあり、基礎資料の収集整理には特に時間をかける必要があります。昨年度は、既存の民俗誌類で明らかにされている事項の洗い出しや歴史博物館所蔵の民具類の整理・データベース化作業を進めると同時に、今現在、市内各地で実施されている寺社行事や地域行事について調査を行いました。このように、お祭や年中行事、家庭や地域での習わしなどについて市民のみなさまから直接お話を伺うことも重要な調査となっています。

## 歴史部会（中世～近現代分野）

この分野では膨大な量の史料整理および翻刻作業が第一段階となります。昨年度は、主に歴史博物館に所蔵されている絵図・地図類、古文書類の調査を進め、基礎資料の集積を目指して活動しました。また、市川の中世の姿を掘り起こすための景観調査、近現代分野においては写真資料の分類作業なども実施しました。今後は、『写真図録(仮称)』の編集とも連動しながら作業を進める予定です。

## 自然部会

自然部会では、今回の編さん事業において初めて、自然環境の変遷を市川の歴史として記述する予定です。昨年度は、都市化による市内の急速な自然変化について、アカガエルの産卵調査や昭和期を市川の自然のなかで過ごした方々からの聞き取りなどを行うことで調査を進めました。また、自然研究史に関する資料や古写真の収集・デジタル化なども進め、動植物相解明の歴史に関する基礎資料作成も進めています。これら昨年度の活動成果は「平成21年度自然部会調査記録」としてまとめる予定です。